

科目名	保育者論	担当教員	大石 洋子
科目コード	320001	授業形態	レポート・科目試験
単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要 (テキストによる通信教育)

<p>1. 「保育者論」とは 保育者に求められていることとは何か</p> <p>2. 「保育者の役割・職務内容」 保育者とはどのような仕事なのか</p> <p>3. 「保育者の倫理」 保育者にはどのような倫理が求められているか</p> <p>4. 「保育者の制度上の位置づけ」 児童福祉法における定義や保育者の資格と責務について</p> <p>5. 「保育士の専門性①」 保育者に必要な資質・能力とはについて</p> <p>6. 「保育士の専門性②」 養護及び教育の一体的展開について</p> <p>7. 「保育士の専門性③」 家庭との連携の在り方と保護者に対する支援について</p> <p>8. 「保育士の専門性④」 計画に基づく保育の実践と省察・評価の在り方について</p>	<p>9. 「保育士の専門性⑤」 保育の質の向上をさせる具体的手立てについて</p> <p>10. 「保育における職員間の連携・協働」 共に働く職員間の望ましい連携・協働について</p> <p>11. 「専門職間・専門機関との連携・協働」 保育現場における専門機関との連携や協働がどのように行われているか</p> <p>12. 「関係機関との連携」 地域における自治体や関係機関との連携と協働について</p> <p>13. 「保育者の資質向上に関する組織的取り組み」 保育者としての資質を高めるための意義や方法について</p> <p>14. 「保育者のキャリア形成」 保育者の専門性とキャリア形成の意義について</p> <p>15. 「保育におけるリーダーシップ」 保育所保育指針におけるリーダーの役割について</p>
---	---

授業修了時の達成目標

- 保育者の役割と倫理、制度上の位置づけ等について理解し、説明できる。
- 家庭との連携、関係機関との連携や協働はどうあるべきかを理解し、説明できる。
- 保育者の専門性とキャリア形成の取組や意義について理解し、説明できる。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・新 基本保育シリーズ⑦ 保育者論 (中央法規出版) ・保育所保育指針 ・幼稚園教育要領	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	

※平成 31 年度以降入学生対象科目

科目名	こども家庭支援の心理学	担当教員	宮城 元子
科目コード	320002	授業形態	レポート・科目試験
単位数	2 単位	必修・選択	必修
授業概要 (スクーリングによる通信教育)			
<p>「こども家庭支援の心理学」では、まず、生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、発達に応じた子どもと関わりを学びます。次に、家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について、発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を学びます。また、子育て家庭に関する現状と課題についても学びます。さらに、子どものこころの健康にかかわる問題を理解し、適切な対応について考えていきます。</p> <p>1. 生涯発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児期／幼児期／学童期／青年期／成人期・中年期／高齢期の発達 <p>2. 家族・家庭について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の意義と機能と向き合い方 ・家族関係、親子関係の理解と支援 ・子育て経験と親としての育ち <p>3. 子育てを取り巻く社会的状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフコースとその視点を活かした子育て支援 ・多様な家庭とその理解とその支援 ・特別な配慮を要する家庭の理解とその支援 <p>4. 子どものこころの健康にかかわる問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気になる行動とその支援 			
授業修了時の達成目標			
上記の4つの視点について理解し、保育士として適切な関わりについて、自分なりの意見をもつことができる。			
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ⑨ 子ども家庭支援の心理学 (中央法規出版)	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	

※平成 30 年度入学生対象科目

科目名	保育の心理学Ⅱ	担当教員	宮城 元子
科目コード	310020	授業形態	スクーリング
単位数	1 単位	必修・選択	必修
コマ数	10 コマ	時間数	15 時間

授業概要 (スクーリングによる通信教育)

<p>〈内容〉</p> <p>1.こどもの発達と保育実践</p> <p>1) 子どもの理解における発達の把握</p> <p>2) 個人差や発達過程に応じた保育</p> <p>3) 身体感覚をともなう多様な経験と環境との相互作用</p> <p>4) 環境としての保育者と子どもの発達</p> <p>5) 子ども相互のかかわりと関係づくり</p> <p>6) 子ども集団と保育の環境</p> <p>7) 自己主張と自己抑制</p> <p>2.生活や遊びを通した学びの過程</p>	<p>1) 子どもの生活と学び</p> <p>2) 子どもの遊びと学び</p> <p>3) 生涯にわたる生きる力の基礎を培う</p> <p>3.保育における発達援助</p> <p>1) 基礎的生活習慣の獲得</p> <p>2) 主体性の形成</p> <p>3) 発達の課題に応じた援助やかかわり</p> <p>4) 発達の連続性と就学への支援</p> <p>5) 発達援助における協働</p> <p>6) 現代社会における子どもの発達と保育の課題</p>
---	---

授業修了時の達成目標

- ・発達理論などに基づき、子どものアセスメントをする力を培い、より生きる力を育むための課題を設定できる。
- ・その課題の達成のために、保育士としてどのような関わりをしたらよいかについて、より具体的に考えることができる。
- ・保護者等も含め、関係機関との連携を考えることができる。同僚等との協働について、自分なりの方法について考えることができる。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	受講態度	30%	
	課題	20%	
	単位認定試験	50%	

※平成 31 年度以降入学生対象科目

科目名	こどもの保健	担当教員	知念 菜穂子
科目コード	320003	授業形態	レポート・科目試験
単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要 (スクーリングによる通信教育)

後日郵送しますので、
届きましたらしっかり張り付
けて下さい。

授業修了時の達成目標

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新 基本保育シリーズ⑪ 子どもの保健 (中央法規出版)	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	

※平成 30 年度入学生対象科目

科目名	こどもの保健Ⅱ	担当教員	知念 菜穂子
科目コード	310003	授業形態	スクーリング
単位数	1 単位	必修・選択	必修
コマ数	10 コマ	時間数	15 時間

授業概要 (スクーリングによる通信教育)

<p>※2 日間、動きやすい服装でご参加ください</p> <p>(1 日目) 6F にて</p> <p>AM:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はじめに(講師自己紹介、2 日間日程説明) ○『赤ちゃん誕生ミラクルストーリー』 ○イメージリー ○妊婦体験 ○子宮、産道体験 ○赤ちゃん抱っこ <p>PM:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○赤ちゃん体験 ○抱っこ、着替え、おむつ替え <p>3F へ移動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手洗い ○身体測定(身長、体重、頭囲、胸囲) ※母子手帳^{パーセント}ル <p>説明 ★母子手帳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バイタルサイン測定(体温、呼吸、脈拍) ★体温計 	<p>(2 日目) 3F にて</p> <p>AM:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沐浴 ★バスタオル・フェイスタオル ○調乳 ○歯、染めだし ★歯ブラシ・手鏡・コップ・デンタルフロス <p>など</p> <p>PM:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○応急処置&救急救命 ABCD ★包帯(家があれば!) ○吐物処理、けいれん、熱中症、アレルギー、慢性疾患 ○保健計画、健康観察、保育環境、与薬、危険カ所チェック ○発達障害、メディア、虐待 ○地域の子育て支援 ○まとめ <p>※子育て支援専門家として大切な事は?</p> <p>こころの根っこを太くする! いのちのお話</p> <p>★は、各自持参お願いします。</p>
---	---

授業終了時の達成目標

<p>こどもの保健Ⅱ:目標</p> <p>1.精神保健の目的について理解する</p> <p>→こどもの心(精神)の発達について理解する</p> <p>2.精神保健の基礎について理解する</p> <p>→こどものこころ(精神)の発達の基礎について</p> <p>知り(知得)、感じて(感得)、体験(体得)から理解する</p>	<p>3.成長、発達と精神保健の関係について理解</p> <p>→こどもの保健Ⅰを踏まえ、演習全般を通して、</p> <p>妊娠中からの関わりが、こどもの成長、発達はもちろん、こころの健康(精神保健)に影響することを理解する</p> <p>4.地域社会と精神保健、治療精神保健活動について理解する</p> <p>→こども保健Ⅰ・Ⅱを通して、将来、子供達が地域社会でより健全な心を育て、様々な環境の変化によって引き起こされている、精神保健の問題について、治療の必要のない社会へと導ける、子育ての重要性を理解する</p>
---	--

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	受講態度	30%	
	課題	20%	
	単位認定試験	50%	

科目名	こどもの食と栄養	担当教員	比嘉 貞子
科目コード	(レポート・科目試験) 310004 (スクーリング) 320005	授業形態	レポート・科目試験 スクーリング
単位数	2 単位	必修・選択	必修
コマ数	10 コマ	時間数	15 時間
授業概要 (テキストによる通信教育)			
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの栄養と食生活は生涯の健康の基礎を形成する重要な時期であることを理解する。 子どもの発育・発達段階に応じた支援をするために、必要な知識を学ぶ。 レポート課題、単位認定試験課題を中心に子どもの食と栄養を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 子どもの健康と食生活の意義 栄養に関する基本的知識 (栄養の基本、栄養素の種類とはたらき) 日本人の食生活の目標 献立作成・調理の基本 	<ol style="list-style-type: none"> 乳児期の授乳の意義と食生活 乳児期の離乳の意義と食生活 幼児期の心身の発達と食生活 学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活 保育における食育の意義・目的と基本的考え方 食育の内容と計画及び評価 地域や家庭と連携した食育の展開 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 特別な配慮を要する子どもの食と栄養① 特別な配慮を要する子どもの食と栄養② 		
授業概要 (スクーリング)			
<ul style="list-style-type: none"> 通信教育 (レポート・科目試験) の理解を深め、保育士として子どもの栄養と食生活の支援のあり方を学ぶ。 演習を通して食生活の支援、食育の実践方法を学ぶ。 自分自身の食生活を評価し、望ましい食生活を理解する <ol style="list-style-type: none"> 子どもの健康と食生活の意義 栄養に関する基本的知識 (栄養の基本、栄養素の種類とはたらき) 	<ol style="list-style-type: none"> 健康な食生活 (食事バランスガイド、食生活指針) 乳児期の授乳の意義と食生活 (乳汁栄養、離乳栄養) 幼児期の心身の発達と食生活 食育の基本と内容 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 演習 (離乳食、幼児食) 単位終了試験 		
授業修了時の達成目標			
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発育・発達段階に応じた、望ましい食生活の支援の知識を身に付け、支援ができる。 栄養に関する基礎的知識を身に付け、自分自身の食生活、保育の現場で応用ができる 現在の子どもの食生活の現状と課題について理解し、保育士として食育が実践できる能力を身に付ける。 食物アレルギー対策、疾病のある子どもの食支援等の知識を身に付ける。 			
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ⑫ 子どもの食と栄養 (中央法規出版)	<レポート・科目試験>		
	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	
	<スクーリング>		
	受講態度	30%	
	課題	20%	
	単位認定試験	50%	

※平成 30 年度入学生対象科目

科目名	家庭支援論	担当教員	仲間 優子
科目コード	320006	授業形態	レポート・科目試験
単位数	2 単位	必修・選択	必修
授業概要 (テキストによる通信教育)			
<p>【学習の目的・ねらい】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する 2 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する 3 子育て家庭に対する支援の体制について理解する 4 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する 			
授業修了時の達成目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども家庭支援の意義とその役割について理解する ・ 子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解する。 ・ 保育士による子ども家庭支援の意義と基本について理解する ・ 子育て支援の支援体制について理解する ・ 子育て家庭ニーズに応じた多様な支援の展開と関係機関との連携について理解する。 ・ 特別なニーズをもつ子育て家庭への支援について理解する ・ 保育者による家庭に対する支援の意味や可能性についての学びを深め、実際の保育場面で必要となる家庭支援のための基礎的知識や支援者としての視点・姿勢を獲得する。 			
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
基本保育シリーズ⑩ 第2版 家庭支援論 (中央法規出版)	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	

科目名	保育内容総論	担当教員	神山 浩子
科目コード	320007	授業形態	スクーリング
単位数	1 単位	必修・選択	必修
コマ数	10 コマ	時間数	15 時間

授業概要 (スクーリングによる通信教育)

後日郵送しますので、
届きましたらしっかり張り付
けて下さい。

授業終了時の達成目標

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ⑭ 保育内容総論 (中央法規出版)	受講態度	30%	
	課題	20%	
	単位認定試験	50%	

科目名	こどもと健康	担当教員	天願 順優
科目コード	320008	授業形態	レポート・科目試験
単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要 (テキストによる通信教育)

○生活や遊びを発展させながら、子どもの健康な心と体を育てる保育者になるために、テキスト「こどもと健康」を熟読し、子どもの健康についての理論と実践を学ぶ

1. 健康に生きる
2. 発育と発達
3. 子どもを取り巻く環境の現状と健康課題
4. 保育における領域「健康」①
5. 保育における健康「健康」②
6. 子どもの健康と生活習慣
7. 食育と栄養
8. 子どもの運動遊び
9. 運動遊びの計画と評価
10. 運動と環境
12. 子どもの事故や病気、危機管理について

授業終了時の達成目標

- ・子どもを取り巻く環境の現状を理解し、「基本的な生活習慣」や「食育」、「心と体」について学ぶ
- ・「安全保育」や「危機管理」について理解を深める

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
○保育者をめざすあなたへ 子どもと健康 (みらい) ○保育所保育指針	試験	100%	
	レポート	100%	

科目名	こどもと言語 I	担当教員	下地 京子
科目コード	320009	授業形態	レポート・科目試験
単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要 (テキストによる通信教育)

【学習の目的・ねらい】

- ・乳幼児の発達と言葉、環境との関わりについて理解を深め、基本的な知識を習得する。
- ・幼稚園教育要領、保育指針に示されている「言葉」の内容について理解する。
- ・児童文化材の特徴と果たす役割、それを活用しての援助とかかわりについて理解する

1 人の生活と言葉

- (1) 言葉とは何か
- (2) 言葉が人間生活の中で果たす役割・機能
- (3) 乳幼児の言葉の特色

2 乳幼児の言葉の発達と環境

- (1) 子供の発達と言葉
- (2) 言葉の発達と環境
- (3) 言葉に関する問題の理解と園における対応

3 領域「言葉」のねらいと内容

- (1) 幼稚園教育要領、保育指針に示された「言葉」に関する内容
- (2) 幼保連携認定こども園の「教育・保育要領」

4 言葉かけを中心とした援助

- (1) 0～3歳児の各段階におけるかかわり
- (2) 5・6歳児の活動と保育者のかかわり

5 児童文化財を通しての援助とかかわり

- (1) お話
- (2) 絵本
- (3) 紙芝居
- (4) パネルシアター
- (5) おもちゃ
- (6) テレビ

6 言葉の発達をとらえる視点と保育評価

授業修了時の達成目標

- ・乳幼児の発達と言葉、環境との関わりについて理解し、基本的な知識が習得できた。
- ・幼稚園教育要領、保育指針に示されている「言葉」の内容について理解できた。
- ・児童文化材の特徴と果たす役割、それを活用しての援助とかかわりが理解できた。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
子どもと言葉<新訂第2版> 萌文書林	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	

※平成 30 年度入学生対象科目

科目名	乳児保育	担当教員	宮川 名子
科目コード	(レポート・科目試験)320010 (スクーリング)320011	授業形態	レポート・科目試験・ スクーリング
単位数	2 単位	必修・選択	必修
コマ数	10 コマ	時間数	15 時間

授業概要 (テキストによる通信教育)

乳児期は、人生の出発点であり、人間が一生のうちで最も成長する時期である。そのため、個々の発達に合わせた受容的で応答的な関わりが大切である。乳児保育の現状や課題を理解し、3歳未満児の発達を踏まえた保育内容と保育者の役割について学んでいく。

1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷
2. 乳児保および子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題
3. 保育所における乳児保育
4. 保育所以外の児童福祉施設における乳児保育
5. 家庭的保育・小規模保育等における乳児保育
6. 3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場
7. 3歳未満児の生活と環境
8. 3歳未満児の遊びと環境
9. 3歳以上児の保育に移行する時期の保育
10. 3歳未満児の発育・発達をふまえた保育者による援助やかかわり
11. 3歳未満児の発育・発達をふまえた保育における配慮
12. 乳児保育の計画・記録・評価とその意義
13. 職員間の連携・協働
14. 保護者との連携・協働
15. 自治体や地域の関係機関等との連携・協働

授業概要 (スクーリング)

「乳児保育」とあわせて、保育士として乳児を保育する上で必要な基本的な考え方や対応のあり方を習得する。そのために「レポート・科目試験」で学習したことをもとに、乳児保育に求められる知識や技術の理解を深め、実践できるようにする。

1. 乳児保育の基本
2. 子どもの生活の流れ（0歳児クラス）
3. 子どもの保育環境（0歳児クラス）
4. 子どもの援助の実際（0歳児クラス）
5. 子どもの生活の流れ（1歳児クラス）
6. 子どもの保育環境（1歳児クラス）
7. 子どもの援助の実際（1歳児クラス）
8. 子どもの生活の流れ（2歳児クラス）
9. 子どもの保育環境（2歳児クラス）
10. 子どもの援助の実際（2歳児クラス）
11. 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮
12. 集団での生活における配慮
13. 環境の変化や移行に対する配慮
14. 長期的な指導計画と短期的な指導計画
15. 個別的な指導計画と集団の指導計画

授業終了時の達成目標

（レポート・科目試験）

- ・乳児保育を取り巻く社会的状況と課題を把握する。
- ・3歳未満児の発育・発達をふまえた援助やかかわりが十分できるようにする。
- ・保護者との連携・協働のあり方を理解する。

（スクーリング）

- ・乳児の保育において必要な基本的な知識や考え方をについて説明できる。
- ・乳児の保育において必要な基本的な技能の方法について説明し実践できる。
- ・保育士という専門職であるために、個人の主体的な学習、および、受講者間での共同的な学習を実践できる。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ⑮ 乳児保育Ⅰ・Ⅱ (中央法規出版)	(レポート・科目試験)		
	試験	50%	
	レポート	50%	
	(スクーリング)		
	受講態度	30%	
	課題	20%	
	単位認定試験	50%	

※平成 31 年度入学生対象科目

科目名	乳児保育Ⅱ	担当教員	宮川 名子
科目コード	(スクーリング)320011	授業形態	スクーリング
単位数	1 単位	必修・選択	必修
コマ数	10 コマ	時間数	15 時間
授業概要 (スクーリング)			
<p>「乳児保育Ⅱ」では「乳児保育Ⅰ」とあわせて、保育士として乳児を保育する上で必要な基本的な考え方や対応のあり方を習得する。そのために「乳児保育Ⅰ」で学習したことをもとに、乳児保育に求められる知識や技術の理解を深め、実践できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児保育の基本 2. 子どもの生活の流れ (0 歳児クラス) 3. 子どもの保育環境 (0 歳児クラス) 4. 子どもの援助の実際 (0 歳児クラス) 5. 子どもの生活の流れ (1 歳児クラス) 6. 子どもの保育環境 (1 歳児クラス) 7. 子どもの援助の実際 (1 歳児クラス) 8. 子どもの生活の流れ (2 歳児クラス) 9. 子どもの保育環境 (2 歳児クラス) 10. 子どもの援助の実際 (2 歳児クラス) 11. 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮 12. 集団での生活における配慮 13. 環境の変化や移行に対する配慮 14. 長期的な指導計画と短期的な指導計画 15. 個別的な指導計画と集団の指導計画 			
授業修了時の達成目標			
<p>(スクーリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児の保育において必要な基本的な知識や考え方をについて説明できる。 ・乳児の保育において必要な基本的な技能の方法について説明し実践できる。 ・保育士という専門職であるために、個人の主体的な学習、および、受講者間での共同的な学習を実践できる。 			
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ⑮ 乳児保育Ⅰ・Ⅱ (中央法規出版)	受講態度	30%	
	課題	20%	
	単位認定試験	50%	

科目名	障がい児保育	担当教員	酒井 洋
科目コード	(レポート・科目試験)320012 (スクーリング)320013	授業形態	レポート・科目試験・スクーリング
単位数	2 単位	必修・選択	必修
コマ数	10 コマ	時間数	15 時間
授業概要 (テキストによる通信教育)			
1. 障害の概要と対象 2. 障害児保育の歴史の変遷 3. 知的障害の理解と支援 4. 自閉症スペクトラム障害の理解と支援 5. 注意欠如・多動性障害の理解と支援 6. 肢体不自由児の理解と支援 7. 視覚・聴覚障害の理解と支援 8. インクルーシブ保育と特別支援教育		9. 指導計画の作成と記録および評価 10. 地域の専門機関との連携 11. 保護者や家庭に対する支援 12. 諸検査による客観的なこども理解 13. 療育とは 14. 発達支援の技法 (特に TEACCH プログラムと感覚統合理論) 15. 障害児保育をとりまく (医療・保健、福祉、教育の) 現状と課題	
授業概要 (スクーリング)			
1 日目 1. 国際生活機能分類 (ICF) における障害のとらえ方 2. リハビリテーションとノーマライゼーションの理念 3. 障害のある子どもの教育制度の変遷 4. 障害児保育の現状と課題 5. 肢体不自由: 運動障害の特徴と支援方法		2 日目 1. 知的障害における認知の特徴と支援方法 2. 自閉スペクトラム症 (ASD) の診断基準と認知の特徴および支援方法 3. 注意欠如多動症 (AD/HD) と感覚の過敏さ・鈍感さ 4. 就学支援・保護者支援と関係機関との連携 5. 障害児保育の実践と展開	
授業修了時の達成目標			
1. ノーマライゼーションの理念と障害児保育の実践が共通するものであることを理解する。 2. 対象となる障害について基本的な理解と保育支援方法を習得できている。 3. 関係機関との連携によって、安全・安心な保育実践が提供できることを理解する。			
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
よくわかる障害児保育 第2版 (ミネルヴァ書房)	(レポート・科目試験)		
	試験	100%	
	レポート	100%	
	(スクーリング)		
	受講態度	30%	
	課題	20%	
	単位認定試験	50%	

科目名	こども学概論	担当教員	比嘉 良洋
科目コード	320014	授業形態	レポート・科目試験
単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要 (テキストによる通信教育)

こども学はこどもをさまざまな角度からとらえてきたこどもとは何かを総体的に考えるものです。保育士資格を取得するために。こどものとらえ方として発達心理学、教育学、乳児保育、こどもの保健など数多くの学問領域を学びます。すなわち、こども一人の存在として、発達、成長していく過程を学際的な視点から考察する学問と言えます。

こども学概論以上のような多面的な視野をもちつつこどもについて考えていきます。

授業修了時の達成目標

こどもとは何か、大人との違いはないかを理解する。

こどもの時期で大切なことは何かを理解する。

保育者としてこどもとの適切な関わりを理解する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
子ども学がやってきた (一藝社)	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	

科目名	保育実習 I	担当教員	仲間 優子
科目コード	(保育実習 I 保育所) 320015 (保育実習 I 施設) 320016	授業形態	実習
単位数	4 単位	必修・選択	必修
日数	(保育実習 I 保育所) 11 日間 (保育実習 I 施設) 11 日間		
授業概要 (実習)			
<p>実習期間 : 11日(90時間)</p> <p>実習時期 : 7月～2月 *保育・施設どちらを先に実施してもよい</p> <p>実習先 : (保育) 保育所、幼保連携型認定こども園、小規模保育 A 型 (施設) 保育所以外の児童福祉施設およびその他の社会福祉施設</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 2. 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。 3. 既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。 4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。 5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。 			
授業終了時の達成目標			
<p>乳幼児への理解を深めるとともに、保育所と保育士の役割を現場体験を通して理解する。さらなる学習に向けて学習課題を見出す。</p> <p>施設利用者との関わりや地域の福祉ニーズについて理解を深める。施設保育士の業務について理解し、業務を遂行するための知識や技術を身につける。</p>			
教科書・教材			その他

科目名	保育実習指導 I	担当教員	仲間 優子・新城桃子
科目コード	(レポート・科目試験)320017 (スクーリング)320018	授業形態	レポート・科目試験・スクーリング
単位数	2 単位	必修・選択	必修
コマ数	10 コマ	時間数	15 時間
授業概要 (スクーリング)			
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>1 保育実習の意義・目的を理解する。保育所・認定こども園、児童福祉施設とは何かを知る。</p> <p>2 実習の流れと実習上の留意点を理解する。</p> <p>①観察実習、参加実習、責任（部分）実習とは何かを学ぶ。</p> <p>②社会人としてのマナーや、報告・連絡・相談（ほうれんそう）についても知る。</p> <p>3 実習課題の設定、実習簿の書き方、指導案の立て方を学ぶ。</p>		<p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>1 実習の意義・目的を理解する</p> <p>2 保育実習に向けてのマナーと心得</p> <p>3 保育実習の計画・準備の確認、保育実習日誌の書き方</p> <p>4 実習の目標や実習課題の設定</p> <p>5 保育に活かす教材と実践例（自己紹介等）</p> <p>6 保育実践および指導案について</p>	
授業概要 (テキストによる通信教育)			
<p>実習体験から自己課題を見出し、次の実習に対して目標を明確にして臨</p> <p>I→II・III、実習生→保育者への架け橋になるのが事後指導（振り返り／省察）である。</p> <p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>・実習の振り返りと自己評価を行い、新たな課題や学習目標を設定する。</p>			
授業修了時の達成目標			
<p>(スクーリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習に関するマナーを理解するとともに、子どもの生活や遊びにおける関心をもって実習に臨む。 ・実習の意義や目的の理解、知識・技術の確認等を行う。 ・実習日誌の書き方および指導計画の立て方を身につける。 <p>(レポート・科目試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義・目的、児童福祉施設の役割について理解できる。 ・実習の振り返りと自己評価を行い、次の実習課題や学習目標を設定する。 			
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	(レポート・科目試験)		
	試験	100%	
	レポート	100%	
	(スクーリング)		
	受講態度	30%	
	課題	20%	
	単位認定試験	50%	

科目名	こどもと造形Ⅱ	担当教員	平良 亜弥
科目コード	320019	授業形態	レポート・科目試験
単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要 (テキストによる通信教育)

- 1 幼児の造形表現の意義
- 2 発達段階と造形表現の特徴
- 3 人間の完成と表現の関係性
 - ・ 線、形、色について
 - ・ 評価と声かけ
 - ・ 「描く」ことと発達段階
 - ・ 「つくる」ことと発達段階
- 4 造形表現の歴史
- 5 造形に発展する素材と表現方法の広がり
 - ・ 「描く」造形表現
 - ・ 描画材と描画の技法
 - ・ 「つくる」造形表現
 - ・ 「つくる」材料とその技法
- 6 地域環境の場と幼児の造形表現の関わり

授業終了時の達成目標

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
幼児の造形表現 (ななみ書房)	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	